

分科会評価結果

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本市における 70 歳以上の運転免許保有者は、平成 30 年の約 4 万 3 千人から令和 6 年には約 5 万 7 千人に増加し、今後も増加することが予想される中、高齢者ドライバーによる交通事故を減少させ、高齢者本人と周囲の安全・安心な生活環境をつくる取組は重要であると認められる。

しかしながら、運転免許を自主返納した動機についてのアンケート調査結果では、本事業を考慮したものではない方が多いことや、免許返納に伴うタクシーチケットの交付は一時的な支援にすぎないことなど、その手法について精査する必要があると考えられる。

本事業は、令和８年度中に見直しが検討されていることから、利用者にとってより利用しやすい事業の在り方を求め、改善の上で継続とした。